

キリストによる平和 使徒 8:1-8	2025. 9. 7、丘上会堂 NO. 756 春日部福音自由教会 山田豊
---------------------------	--

この時期、説教のタイトルとしてはよくある言葉だと思います。お話しする前から、はいはい分かってますよ、と言われそうなところですよ。

前回聞いた聖書の一節に、「ユダヤ人はサマリア人と付き合いをしなかったのである。(ヨハネ 4:9b)」とありました。これには、深い歴史の中で起きた出来事に由来します。詳細は、列王記第2、17章をお読みになっていただきたいと思います。

サマリア人は、北王国イスラエルから続く民族で、ゲリジム山に神殿を建て、礼拝をしていました。ユダヤ人から見ると、彼らはアッシリアによって滅ぼされたあと、異邦人と結婚してユダヤ人としての純潔を無くしたもの、また彼らの礼拝も異邦人の礼拝と混ざった二重礼拝であって、正しく主なる神を礼拝していない民である、と映っていたのです。これに加えて、ユダの民がバビロン捕囚から解放されてエルサレムに戻り、神殿の再建を始めるときに、サマリア人はその手伝いを願い出たのですが、このような理由で拒否されてしまいます(エズラ 4:1-3)。ここにおいて、二つの民族の対立は深まり、サマリア人は神殿再建工事の邪魔をするようになり、自分たちの礼拝場所をゲリジム山と定めたのでした。。

このような背景で、サマリア人はユダヤ人から嫌われていたのです。しかしそのサマリア人の女性にイエスは声をかけ、ここからサマリアに住んでいる人たちは救い主イエスを信じたのです。それから使徒の時代になり、迫害によってエルサレムの信徒たちは、各地に散らされてしまいました。その中に、このサマリアに下ってきたのが、ピリポでした。彼の宣教によって、大きな喜びが起きたのです。かつて福音を聞いた人たちが、信仰を復興させる、リバイバルが起きたのです。

そのあと、ピリポはガザに下ります。ここで彼は、エチオピア人に出会い、み言葉を伝えました。エチオピア人は回心してバプテスマを受けたのです。印象的な言葉が使徒 8:26 にあります。第3版では「このガザは、今荒れ果てている」これはまさに今の時代に通じる言葉です。私は、ピリポのような人が、現在のガザに降り立ってほしいと願っています。

中の悪い人の中でも、荒れ果てた地のようなところでも、そこに福音を伝える人がいたら、平和が訪れるのではないのでしょうか。なぜなら、福音はキリストの平和そのものだからです。

引用聖句

エズラ 4:1-3 ユダとベニヤミンの敵たちは、捕囚から帰って来た人々がイスラエルの神、【主】のために宮を建てていると聞いて、2 ゼルバベルと一族のかしらたちのところに近づいて来て言った。「私たちも、あなたがたと一緒に建てたい。私たちは、あなたがたと同様、あなたがたの神を求めたいのです。私たちをここに連れて来たアッシリアの王エサル・ハドンの時以来、私たちはあなたがたの神に、いけにえを献げてきました。」3 しかし、ゼルバベルとヨシュアと、そのほかのイスラエルの一族のかしらたちは彼らに言った。「私たちの神のために宮を建てることは、あなたがたにではなく、私たちに属する事柄です。ペルシアの王キュロス王が私たちに命じたとおり、私たちだけで、イスラエルの神、【主】のために宮を建てるつもりです。」

申命記 11:29 あなたが入って行って所有しようとしている地に、あなたの神、【主】があなたを導き入れたら、あなたはゲリジム山の上には祝福を、エバル山の上にはのろいを置かなければならない。

ピリピ 3:6 その熱心については教会を迫害したほどであり、律法による義については非難されるところがない者でした。

使徒 1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。」

使徒 8:26 さて、主の使いがピリポに言った。「立って南へ行き、エルサレムからガザに下る道に出なさい。」そこは荒野である。

コロサイ 3:15 キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのために、あなたがたも召されて一つのからだとなったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。

エペソ 2:14a 実に、キリストこそ私たちの平和です。